

# 令和7年度 取組事例のご紹介

---

第7回 大井川水系流域治水協議会

令和8年3月17日

# 大井川水系流域治水プロジェクトにおける島田市の取組

①島田市

## ●住民の防災意識向上のための取組

- ▶ 想定最大規模降雨、計画規模降雨対象とした洪水浸水想定区域図を基にした洪水ハザードマップの作製・周知
- ▶ 迅速な水防活動を支援するためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報等の普及活動を実施



## ●迅速な水防活動・排水活動の取組

- ▶ 地域住民や消防団等が参加する水害リスクの高い箇所共同点検、水防訓練を実施



## ●環境と災害に対応した都市計画を周知する取組

将来のまちづくりを背負って立つ中学生を対象として、「都市化と環境保全」をテーマにした講座を実施し、当社が進める自然環境の保護と自然災害に対応した都市計画について周知活動を行った。



## ●雨水浸透施設設置費補助金交付の取組

- ・令和7年度 雨水浸透ます 40基分 交付

## ●グリーンインフラの取組

かわまちづくり(蓬萊橋右岸)

(整備のイメージ)

- ・令和6年度 詳細設計
- ・令和7年度 第一期工事  
(河川区域外)
- ・令和8年度 第二期工事  
(河川区域内)



# 流域治水プロジェクトの推進（焼津市）

②焼津市

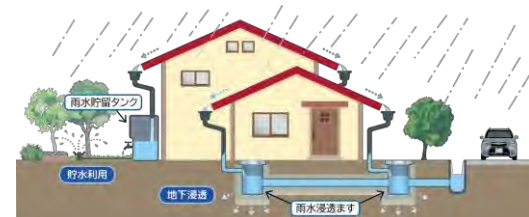


## ■ 災害情報可視化サービスの運用

災害時の情報収集・共有を円滑に行うため、LINEチャットボットを活用した災害情報可視化サービス「**リスク連携型デジタルクロノロジーサービス（リスクロ）**」を運用

## ■ 雨水貯留浸透施設設置補助事業の運用

住宅等の敷地への「**雨水浸透ます**」や「**雨水貯留タンク**」といった雨水貯留浸透施設の設置費用の一部を補助



補助対象	補助額	詳細
雨水浸透ますA型	1基につき10万円まで 全額補助	焼津市内の住宅等1棟につき 建築面積50㎡未満・・・1基まで対象
雨水浸透ますB型	1基につき5万円まで 全額補助	建築面積50㎡以上・・・2基まで対象
雨水貯留タンク	1棟につき3万円まで 全額補助	焼津市内の住宅等1棟につき 貯留容量の合計が200リットル以上のタンク設備 (例：50リットル×4基でもOK)

## ■ 普及啓発活動の実施（水防意識の向上）



↑令和7年台風第15号の水防活動で使用



## ■ 多様な団体と連携した総合水防訓練の実施



市

国土交通省・自衛隊

水防団・消防団

建設業関係者

市民・ボランティア団体

# 【流域治水プロジェクト】避難の実効性向上に向けて（藤枝市）

## 1. 藤枝市版マイ・タイムラインは？

一人ひとりが、「**自宅や自宅周辺の水害リスクを理解**」し、避難判断に必要となる「**防災情報や避難情報**」、「**避難の方法**」について確認し、「**避難のタイミング**」と「**避難場所**」について確認し、「**わが家のマイ・タイムラインシート**」を作成

## 2. これまでの取組み

令和6年度 デジタル版マイ・タイムラインの構築

→3月10日より運用開始

令和7年度 デジタル版マイ・タイムラインの運営

→作成者数：約1,000人

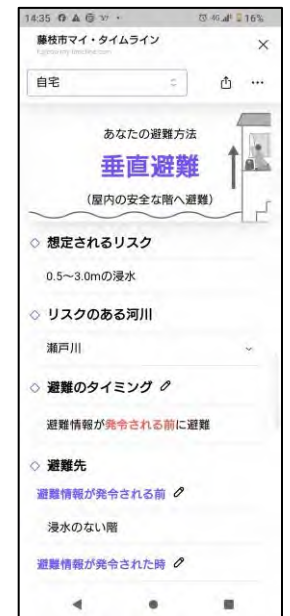
## 3. 次年度に向けた取組み

- 紙版とデジタル版の両輪でマイ・タイムラインの作成率向上

**作成率向上 = 避難の実効性の更なる向上！**

- 出前講座「マイ・タイムラインを作成しよう（小中学生編）」を開設

**子供の防災意識の向上を図ることで、親世代の防災意識を高める！**



# 【牧之原市】流域治水プロジェクト

④牧之原市

## ○ 令和7年度末までの取り組み内容について

### ◆ 住民の防災意識向上のための取組

- ・ 広報誌やリーフレット等を活用し、出水期前に水害対策の啓発活動を実施。
- ・ 市民及び地域防災力向上を図るため、防災出前講座において風水害対策の講座を実施。
- ・ 「わたしの避難計画」の周知及び防災指導員養成講習会(一般コース)での実施
- ・ 令和2年12月に全戸配布した、洪水ハザードマップ(最大浸水想定)の周知を図り、記載内容等の理解促進を実施。



「わたしの避難計画」を作ってみよう!

災害が起きたときにどこに逃げるか決めていますか？  
家族の集合場所は決まっていますか？  
自分のお家にはどんな災害リスクがあるか言えますか？

災害が起きたときに、どんな行動をとるのかを決めておくことは防災の基本となります。  
作った「わたしの避難計画」は冷蔵庫などにはって家族と共有しましょう!

「わたしの避難計画」本体(A4 両面)      作成ガイド(A3 両面)

完成したら冷蔵庫などにはっておきましょう。表面には避難経路が書けるようになります。

作成ガイドに沿ってハザードマップを見ながら、本体に書き込んでいきましょう。「牧之原市」や「静岡県」の「静岡県防災」(アプリ)でもハザードマップを見ることができます。

知識ブック(85 脱本)

避難先の選び方や、避難経路の書き方ものっているので読んでみましょう。

非常食や簡易トイレなどの防災グッズも、お家で用意しておきましょう。

### ◆ 社会経済被害の最小化のための取組

- ・ 氾濫発生後、速やかに排水活動ができるよう排水ポンプ車の点検及び操作訓練を実施。



## ○ 今後に向けた課題

- ・ 市民のハザードマップ認知度が低いいため、更なる周知が必要。
- ・ 要配慮者へのハザードマップの周知と利活用の促進。
- ・ 風水害対策に関する出前講座の実施数の増加。

牧之原市 MAKINOHARA

計画規模  
概ね100年に1回の規模に想定される最大規模

想定最大規模  
概ね100年に1回の規模に想定される最大規模

FLOOD HAZARD MAP

洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップの活用について  
洪水ハザードマップは、洪水発生時の被害を軽減するための重要なツールです。ご自身の住居や職場、学校などの場所を確認し、避難経路や避難場所を事前に把握してください。

洪水ハザードマップの活用について  
洪水ハザードマップは、洪水発生時の被害を軽減するための重要なツールです。ご自身の住居や職場、学校などの場所を確認し、避難経路や避難場所を事前に把握してください。

# 【吉田町】 計画的な流域治水の推進



⑤吉田町

## ○当町の現状

- ・田畑の割合が減少(S51…18%程度→現在…10%程度)
- ・市街地の割合が増加(S51…18%程度→現在…49%程度)
- ・古くから盛んであった養鰻業の衰退により養鰻池が減少し宅地化が進行  
→治水の視点で見ると、民地の雨水貯留機能が低下しており対策が必要。



令和7年台風15号の際の冠水箇所→

## ○計画策定

- ・吉田町湯日川流域治水対策計画《R6・町独自作成》
- ・坂口谷川水害対策プラン《R4・流域地方公共団体等で策定》  
→ハード・ソフトの両面から治水対策を推進



- 中長期的取組  
…町による準用河川等の整備(当面1/5確率)
- 短期的取組  
…町によるハード整備(排水ポンプ場の整備等)

## 吉田町が実施している短期的取組(一例)



【R7年度】排水ポンプ場の整備  
【普通河川から二級河川坂口谷川への流出部】



【R7年度】可搬式排水ポンプの設置  
【普通河川から二級河川坂口谷川への流出部】

引き続き、断面不足の河道改修や雨水貯留施設などの整備に取り組みます！



## 令和7年度実施

### ○ハード対策の主な取組

河川に堆積した土砂を撤去するための費用を計上し、重機借上による河床の掘削を実施した。



### ○地域住民の防災意識向上のための取組

水防演習への各地区防災委員の参加土のう作り等の研修を行った



### ○迅速かつ的確な避難行動のための取組

総合防災訓練を実施し、連絡体制の確認等を行った。



### ○迅速な水防活動・排水活動の取組（継続）

大雨時の河川巡視やの水防活動は消防団が担っている。ポンプ点検を行う際に資機材や操作の確認を行い、機材を扱う職員の育成を行なった。



## 令和8年度予定

### ○ハード対策の主な取組（継続）

河川に堆積した土砂を撤去するための予算を計上し、予防的な水害対策を実施します。



### ○地域住民の防災意識向上のための取組

地域住民へ水防演習に参加を促し、水害への対処、意識の向上を図る。



### ○迅速かつ的確な避難行動のための取組

災害対策本部・支部運営訓練を行い、指示系統や連絡体制の確認を行なう。



### ○迅速な水防活動・排水活動の取組

大雨時の河川巡視やの水防活動は消防団が担っている。ポンプ点検時や水防演習にて、機材を扱う職員の育成を図る。



島田土木事務所では「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」として、大井川流域治水プロジェクトに位置付けられた、大井川水系中流七曲りブロック整備計画に基づく大井川本川の河道掘削や堤防整備を国土強靱化5か年加速化対策などにより実施している。

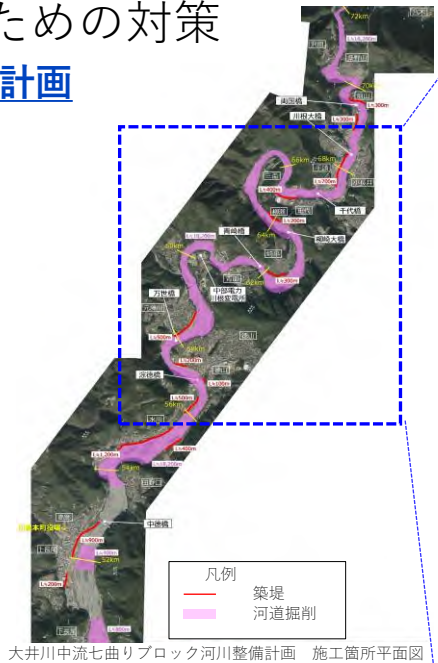
## ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### ✓大井川水系中流七曲りブロック河川整備計画

令和7年度

- ・河道掘削
- ・計画高水位（HWL）までの護岸整備を実施

大井川	徳山	河道掘削工
大井川	元藤川	護岸工



大井川中流七曲りブロック河川整備計画 施工箇所平面図



(単位: m<sup>3</sup>)

年度	掘削土量
R6年度 (R5補正)	72,900
R7年度 (R6補正)	36,100



河道掘削の状況

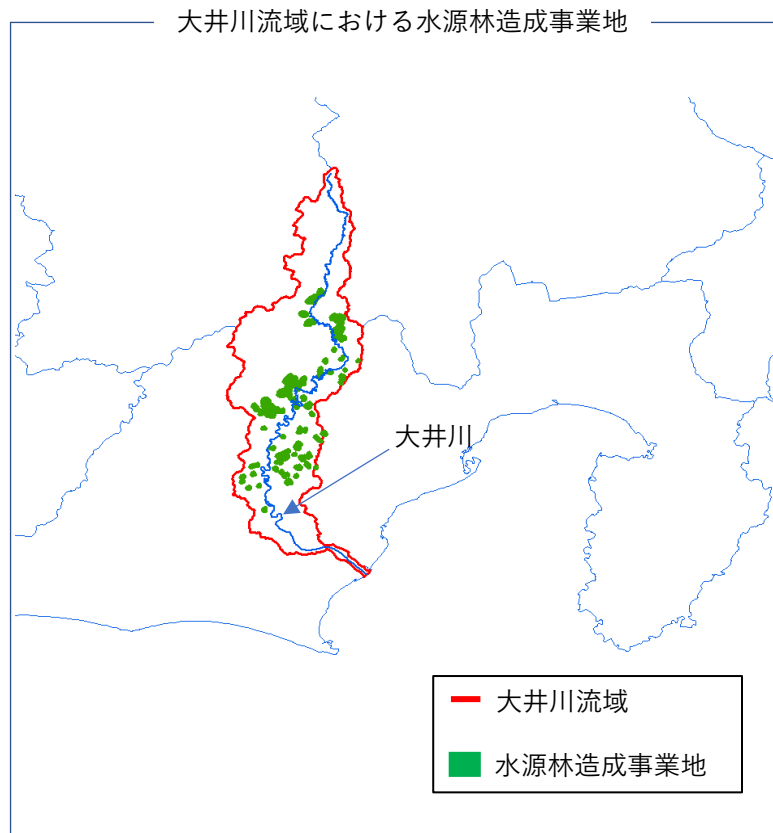


護岸整備の状況

センサ印宅地図は庁内利用に限り。印刷物やコピー画像の庁外利用は禁止です。

## ■ 水源林造成事業による森林の整備・保全

- ・ 水源林造成事業は、ダムの上流部等に位置する奥地水源地域の民有保安林において、森林整備センターが費用負担者となって、植栽から成林に至るまでの保育活動を計画的に実施することにより、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図る事業です。
- ・ 大井川流域における水源林造成事業地は、約100箇所（造林地面積 約2,600ha(契約面積約3,500ha)）あり、新植、下刈り、除伐・間伐等の森林整備を計画的に実施しています。 ➡ 令和7年度実績 除間伐等 45ha実施
- ・ 一部のダム湖上流部において、増水時の水位上昇によると見られる溪岸森林の崩落により、川岸から山頂部に向かって森林が崩落している箇所があります。平時に流量低下を図る（事前放流）などの対策を望みます。





## ○ 防災気象情報の改善に関する取組

令和8年出水期以降の防災気象情報の体系整理による情報改善に向けて、新情報への円滑な移行ができるよう静岡県内の自治体等に説明を行った。

なお、新しい防災気象情報では、以下の変更・改善により、受け手側の立場に立った情報となる予定。

- 5段階の警戒レベルにあわせて、情報体系及び名称を整理
- 警戒レベル4に相当する「レベル4〇〇危険警報」の新設

警戒レベル	洪水等に関する警報			土砂災害に関する情報	高潮に関する情報
	洪水予報河川、水位周知河川の外水氾濫 河川ごと	その他河川の外水氾濫、溜水型内水氾濫 市町村ごと	内水氾濫 市町村ごと		
5	氾濫発生情報	—	大雨特別警報	大雨特別警報	高潮氾濫発生情報
<警戒レベル4までに必ず変更>					
4	氾濫危険情報	—	—	土砂災害警戒情報	高潮特別警報、高潮警報
3	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報(溜水警報)	大雨警報(土砂災害)	警報に切り替える可能性のある高潮注意報
2	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報	大雨注意報	高潮注意報

※ 警戒レベル相違情報としての位置づけをし

警戒レベル	洪水に関する情報「洪水危険度」	大雨に関する情報「大雨危険度」	土砂災害に関する情報「土砂災害危険度」	高潮に関する情報「高潮危険度」
	洪水予報河川の外水氾濫 河川ごと	内水氾濫及び左記以外の河川の外水氾濫 市町村ごと	市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと
5	レベル5氾濫特別警報	レベル5大雨特別警報	レベル5土砂災害特別警報	レベル5高潮特別警報
<警戒レベル4までに必ず変更>				
4	レベル4氾濫危険警報	レベル4大雨危険警報	レベル4土砂災害危険警報	レベル4高潮危険警報
3	レベル3氾濫警戒情報	レベル3大雨警戒情報	レベル3土砂災害警戒情報	レベル3高潮警戒情報
2	レベル2氾濫注意情報	レベル2大雨注意情報	レベル2土砂災害注意情報	レベル2高潮注意情報

現行

※令和8年出水期以降の予定

## ○ 地域住民の防災意識向上のための取組

引き続き、静岡の自治体等にワークショップや出前講座等の講演を通して、防災意識向上のための普及・啓発を行った。



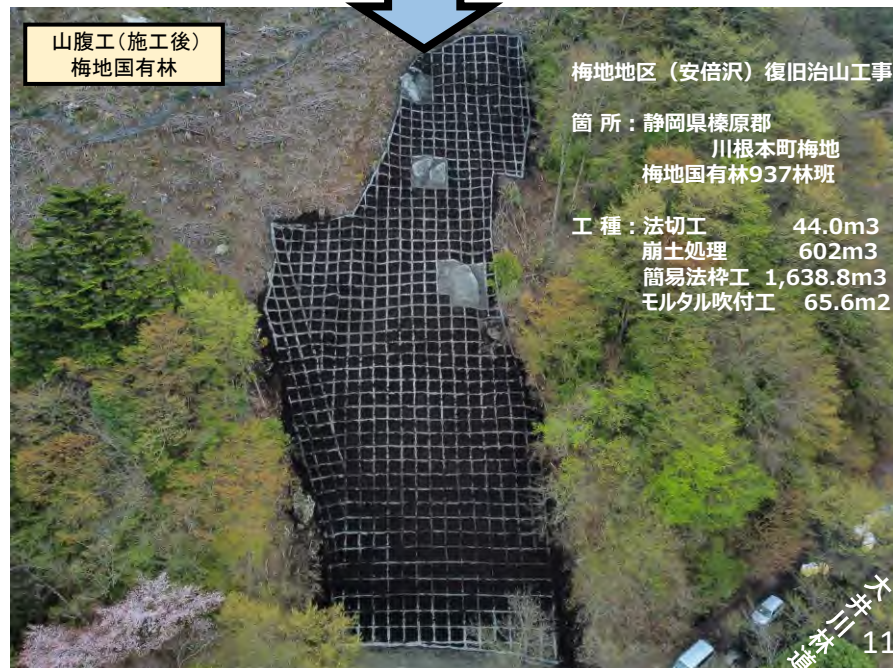
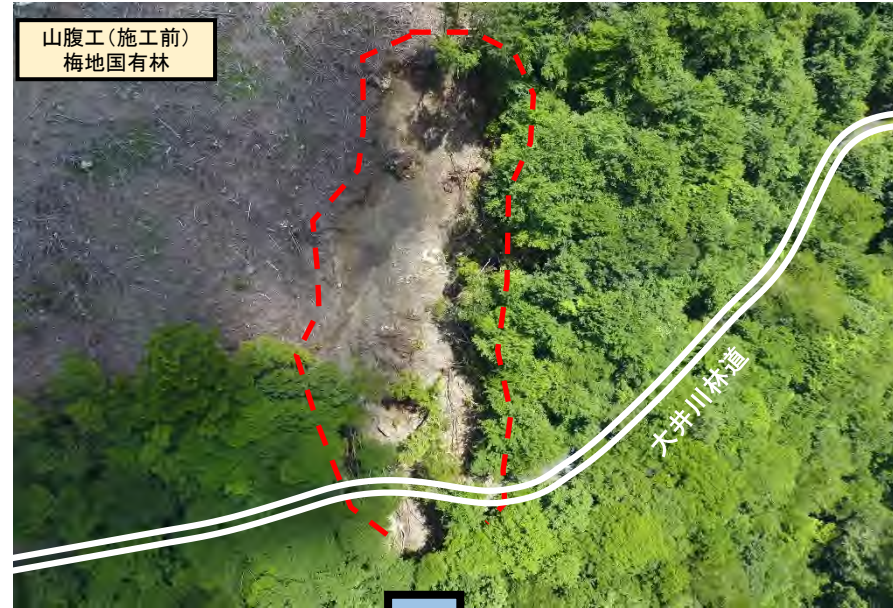
## ○ 迅速かつ的確な避難行動のための取組

引き続き、静岡県内の自治体等に、キキクル等の防災気象情報の利活用方法を周知広報した。

# 静岡森林管理署における国有林野内直轄治山事業の取り組み

⑩静岡森林管理署

- 川根本町の国有林内において、多くの崩壊地が存在していることから、崩壊地の復旧と併せて森林全体の健全な成長を図るため保安林整備を含む治山事業を実施している。
- 大井川左岸長島ダム上流にて発生した山腹崩壊地について治山工事（0.17ha）を行い、令和7年5月に完了している。今後も、保全対象が近接した箇所については早急に事業を行う。



大井川上・中流部に位置する大井川・榛原川地区は四万十帯という地質と中央構造線・糸魚川静岡構造線に挟まれ、激しい地殻変動の影響を受けているために、岩盤は脆く、侵食が著しく進行し、山地荒廃が進んでいます。

昭和30年代以降に、現静岡市葵区井川以北において電源開発が急速に進んだことにより道路等の整備が図られるなど、地域の開発が進みこの地域の環境保全への関心が高まったことにより、昭和41年に当該地域の荒廃地を復旧するため、「民有林直轄治山事業」に着手しました。

大井川治山センターはこの事業地を引継ぎ、川根本町内の大井川支流榛原川流域を新たに事業地として加え、治山事業を専門に実施する我が国唯一の治山センターとして、平成13年に川根本町に設置されました。事業期間は、昭和41年度から令和12年度までとなっています。

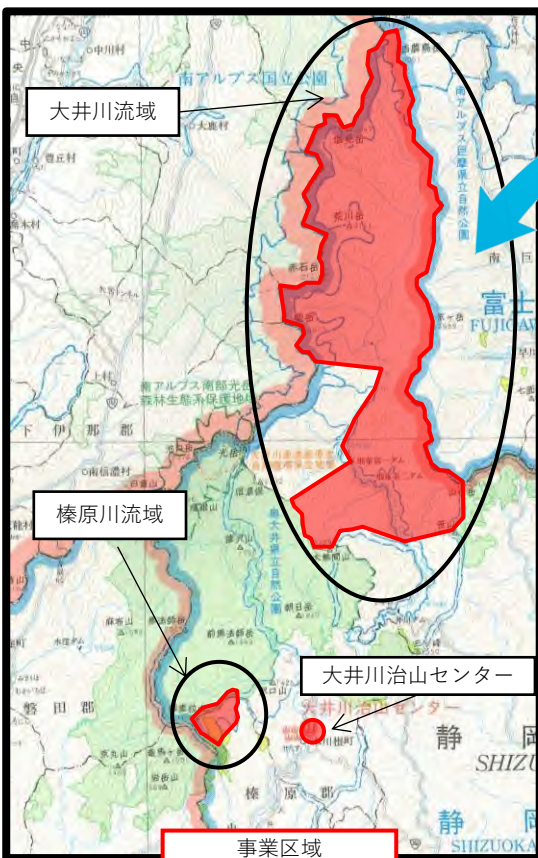
## 令和7年度事業量

- 溪間工等 : 2箇所 (3基)
- 山腹工 : 7箇所 (0.72ha)
- 航空実播工 : 1箇所 (1.30ha)

令和7年度11月時点



大井川流域 (静岡市葵区)

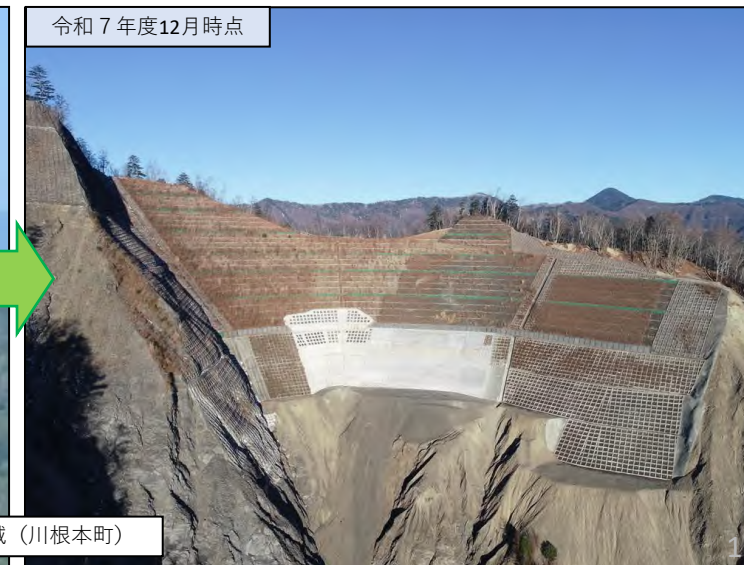


着手前 (平成16年)



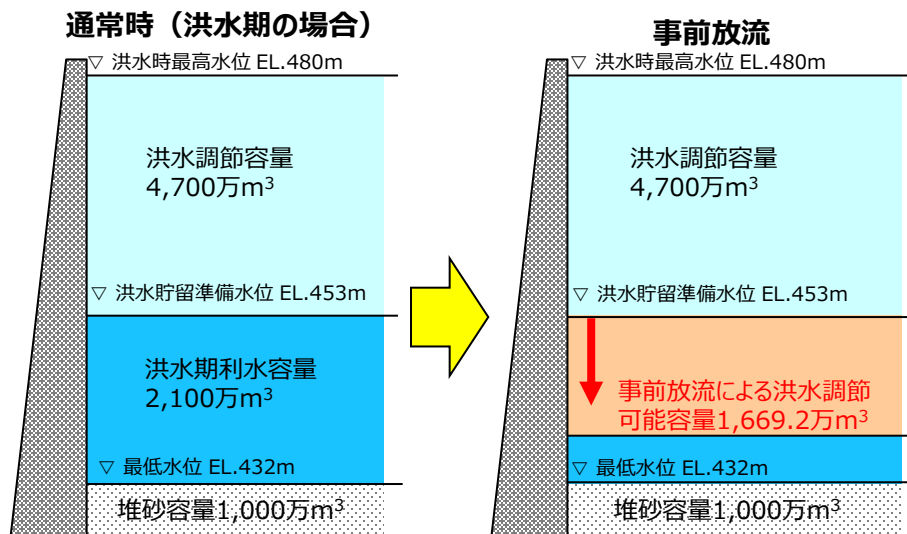
榛原川流域 (川根本町)

令和7年度12月時点



- 大井川水系では令和2年5月に治水協定を締結し、大井川水系の計15ダムで最大約1億520万 $m^3$ の洪水調節容量が加わるなど事前放流の実施方針が定められた。
- 長島ダムでは洪水調節可能容量が最大で6,369.2万 $m^3$ となるなど、洪水調節機能の強化が図られている。
- 令和7年は長島・奥泉・井川・畑薙第二・畑薙第一ダムのダム群において基準降雨量を予測される降雨はありませんでした。

## ＜事前放流による洪水調節機能の強化＞ (長島ダムの容量配分図イメージ)



## ＜事前放流実施の流れ(長島ダム)＞

- ① 気象台が大雨や台風に関する情報を発表
- ② 河川管理者がダム管理者へ①の情報を提供し、事前放流を実施する態勢に入るよう伝える(ダム管理者は予測降雨量を注視)
- ③ 予測降雨量が基準降雨量(358mm/48時間)を上回り、ダム管理者が事前放流の実施を決定(ダムの流入総量を予測し貯水位低下量を算出)
- ④ 関係機関へ通知
- ⑤ 事前放流の開始

大井川・駿河海岸 令和7年度整備箇所

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

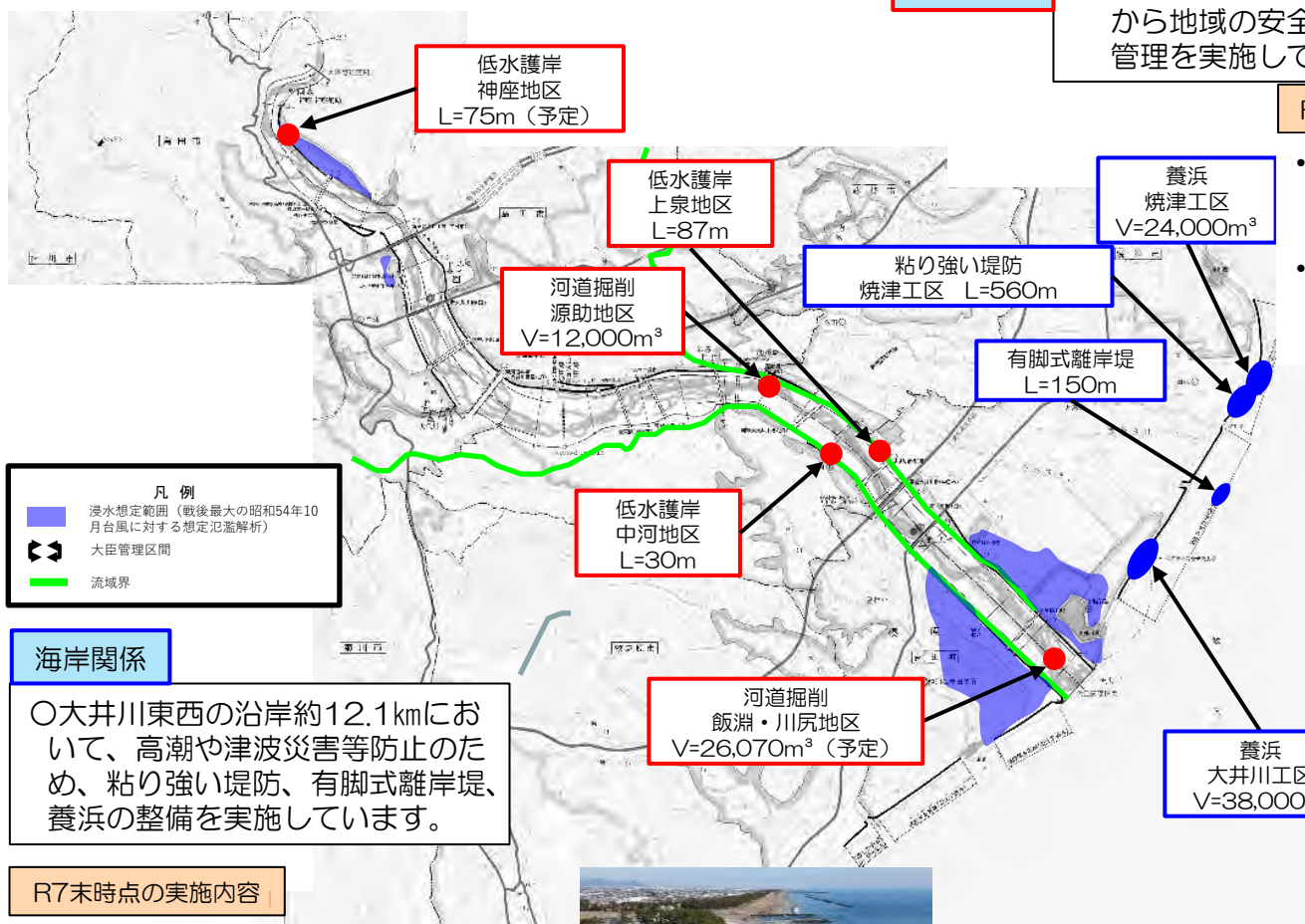


表 堤防の整備状況 (令和7年度末時点)

整備計画策定時	堤防必要区間 延長(km)	計画断面堤防区間		暫定断面堤防区間	
		延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)
現況	38.6	35.8	92.7	2.8	7.3
		37.3	96.7	1.3	3.3

河川関係 ○直轄管理区間 大井川 (24.8km) において、洪水氾濫から地域の安全・安心を確保するため、河川改修・維持管理を実施しています。

R7末時点の実施内容

- 洪水を安全に流下させるために、飯淵地区川尻地区において、洪水を安全に流下させるため河道掘削を実施。
- 神座地区、上泉地区、中河地区において侵食による決壊をふせぐために低水護岸の整備を実施。



令和8年度以降の取組

国直轄区間でS54.10月洪水規模(観測史上最大流量)の洪水を安全に流下させる為に、堤防整備・河道掘削を引き続き実施します。



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

## 自治体の水防訓練に参加

- 島田市及び藤枝市の水防訓練に静岡河川事務所から災害対策車両（排水ポンプ車、照明車）を派遣し、TEC-FORCEの取組について説明を行った。



水防訓練での災害対策車両の説明状況（左：島田市、右：焼津市）

## 静岡県・焼津市・藤枝市総合防災訓練に参加

- 静岡県・焼津市・藤枝市総合防災訓練に静岡河川事務所から災害対策車両（排水ポンプ車、照明車）を派遣し、TEC-FORCEの取組について説明を行った。



総合防災訓練での災害対策車両の説明状況（左：焼津市、右：藤枝市）

令和8年度以降の取組

引き続き、水防訓練や防災訓練に参加し、災害対策車両やTEC-FORCEについて積極的に紹介していく。

## 重要水防箇所合同点検の実施

- 流域の水防団・消防団及び関係行政機関と合同で重要水防箇所の点検を6月に実施。

＜参加機関＞

静岡県中部地域局、島田市、焼津市、藤枝市、吉田町、静岡地方气象台、静岡河川事務所（約30名）



重要水防箇所 左岸5.4km  
(焼津市相川地区)



重要水防箇所 左岸8.6km  
(藤枝市源助地区)

重要水防箇所の一覧は、静岡河川事務所HPで確認できます。  
(<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/bousai/suibou/>)



重要水防箇所 右岸1.1km  
(吉田町川尻地区)

令和8年度以降の取組

出水期前に重要水防箇所を確認し水害リスク等を共有することで、迅速な防災体制の確保に努めて参ります。